

都にて 紅くれない萌ゆる 若人わこうどの

先さきにしあれば 時ときも待つらむ

令和七年十一月三日

大中臣正比呂



明治三十七年（一九〇四年）、作詞 澤村胡夷こい、作曲 吉田恒三（k.y.）の旧制第三高等学校「逍遙歌」の出だしは「紅萌ゆる丘の花」である。

単にk.yと記されてきた作曲者は一〇〇年の謎と言われてきたが、近年、京都大学の同窓生によって解明された。この歌は、黒沢明 監督の映画「わが青春に悔いなし」の挿入歌として使われたので、知る人も多かるう。

萌ゆる 紅くれない とはルージュを連想させる、若き乙女の息吹である。